



## 職人紹介 Shokunin File

佐藤卓也棟梁は、祖父の代から続く大工一家の三代目。「小学生の頃から親父について現場を見に来ていた」という生粋の職人です。今ではお父様の佐藤敏明棟梁とともに親子で現場を支える、ナルシマにはなくてはならない一人です。

ナルシマがお客様ごとにまったく異なる家づくりを実現できるのも、大工職人の優れた技術があるからこそ。「家によってこだわりが違うのでやりがいがあるし、どの現場でも新鮮な気持ちで仕事ができるのが良いね」と言う佐藤棟梁。心がけているのは、お客様の望むことを美しく形にすること。「あるお引き渡し式で男の子からもらった『ありがとうの手紙』は、今でも家に飾ってますよ」と笑います。「細かなところまで丁寧に」が信条というだけあって、愛用の道具の手入れにも余念がありません。お客様の声を励みに、今日も現場で奮闘中です。



見えないうちも丁寧に仕上げます。



工作教室では子どもたちをやさしくサポート。

棟梁  
佐藤卓也  
(44)



2022年の抱負  
今年も一年、怪我なく  
健康に過ごすこと。  
安全な現場づくりを  
徹底します！



右から面取り鉋、粗鉋、仕上げ鉋。  
見習いの頃から使っている玄能の  
柄は手づくり。



粗鉋(右)はお爺さんから譲り受け、  
仕上げ鉋(左)は10年前に自分で  
購入。刃の減り方に注目！

Shokunin File.05

Takuya  
Sato